

透視像

編集後記

()

散歩の楽しみ 初芝 澄雄

新しい年を迎えましたが、世の中はなかなか順調とばかり言ふないと思っています。そこで家にいる事が多くなっている次第です。そこで体調を整えるために、散歩を多くと心掛けています。

はじめは同じコースを繰り返していますが、最近は自宅近くの駅を利用して、その日によってある駅まで電車で行き、その近くを歩むか、或いはそこから一駅まで歩き、そこから電車で自宅に帰る事にしました。歩いてみると、神社や寺の門前、歩道の傍らには説明版があり、昔この近くで千駄ヶ谷のホームには説明板があり、それが千駄ヶ谷と言つ地名になつたとあります。そこから信濃町方面に歩みますと、学徒出陣の碑とか、戦後古橋選手らが活

躍したプールがあります。このよつた場所を見ながら歩むと樂しくなります。また小田急線参宮橋駅で下りるべく、近くに春の小川と言つ通りがあります。此処は流れていた所で、今は道路になつていて、と言つ事が分かりました。

以上書いてきましたが、ただ歩くのみでなく、各地域の歴史や地理が分かつて、とても楽しく歩ける事を実感しています。先日もJR原宿駅で下車しました。勿論、明治神宮がありますが、代々木公園に行ってみた。代々木上原の方に向って進んで行くと、幾つも銅像があり、昔此処が練兵場であった時、日本で初めて飛行機を飛ばしたので、日本航空発祥の記念碑がある所だつたのです。この様にして天気の良い日など私は日課の如くに、まちまちを歩き回つております。

さて勝手なことを書いてきましたが、今年も各部の方々が、一層の活躍を期待する事を期待して筆を置きたいと思つます。

新年を迎えたまからたくさんの賀状をいただきました。旅行先でのスナップに元気な姿、自作の絵画や書写真に添えての私信、それぞれ趣向を凝らしたご挨拶に、暫し読み耽つていました。八十代半ばのY先生はひつしりと細かい字で恒例の年頭エッセイ、ご健在が分かります。超高齢のA先生は「田下、某所で静養中。来世への旅立ちも近づつつあり……賀状は本年をもって最後」と。

またある方は「核廃絶への期待を持たせたオバマ大統領のノーベル賞受賞演説にガッカリ」と述べていましたし、T先生は家族が新型インフルに罹患し、窮されたと、昨年を回顧されました。

さて日本医学会芸術クラブの新年はどうなるのでしょうか。邦楽部の4先生は早くも出演をエントリー。上記の「透視像」にあるように、各部の諸先生の活躍にかかるております。宜しく。